

教育事務所が主催する初任者研修が終了しました

西部教育事務所が主催する初任者研修では、「模範授業参観」と「初任者による研究授業及び授業研究会」を行ってきました。11月に実施した3回の授業をもって終了となりました。最後の3回は、いずれも道徳での研究授業でした。

11月19日（月）には、伊万里市立東陵中学校の打越琢也先生が、11月26日（月）には、白石町立有明南小学校の中野滉介先生、伊万里市立東山代小学校の草場史帆先生が授業を行いました。授業でねらう道徳的価値に迫るために、それぞれの授業で、役割演技など表現活動の工夫や教材提示の工夫、家族からのサプライズ手紙の準備など、様々な工夫が見られました。



有明南小の授業の様子



東陵中の授業の様子

また、今回は、授業研究会の後、「来年度、新しく教壇に立つ先生へ伝えたいこと」というテーマでグループ協議を行いました。初任者にとっては、悩みの尽きない8か月であったようですが、それぞれの努力による克服や、初任者研修指導教員及び周りの先生方の協力や支援によって乗り越えられたとのことでした。その経験を次の初任者に伝えることと、現在の悩みを解決していくこと等を目的に行いました。協議では経験に基づいた話がたくさん出されました。経験はかけがえのない財産です。先輩からの貴重な意見として、次の初任者に伝えていきます。



東山代小の授業の様子

完璧にできないで当たり前
些細なことでも話をする
相談をする
無理はしてでも無茶はしない
笑顔でいられるように気持ちの切り替えが大事
先生が笑顔であれば、子どもも笑顔になる

出された意見【抜粋】



東山代小での
グループ協議の様子

自身の運転スタイルを振り返って、 交通加害事故を防ぎましょう！

今年度、4月～10月までの西部教育事務所管内の教職員による交通加害事故は39件発生しており（グラフ1）、昨年度の同時期と比べて同程度です。

原因は、前方不注意による追突事故が最も多い状況です（表1）。

そこで、次のようなことを中心に自身の運転スタイルを振り返り、交通加害事故防止を図りましょう。

グラフ1 交通加害事故の発生件数
臨時任用職員を含む
(4月～10月)

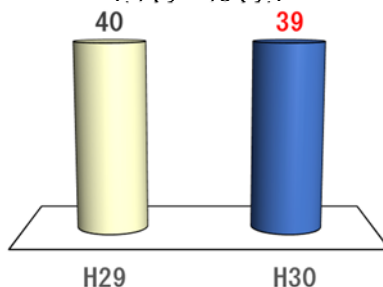


表1 発生原因の内訳

前方不注意	16
左右不注意	12
後方不注意	10
運転操作ミス	1
合計	39

信号などで一時停車するときも、前の車と十分な車間距離をとりましょう。

信号などで一時停車するとき、前の車との車間距離はどのくらいとっていますか？

図1～3を参考に、自身の運転スタイルを振り返ってみましょう。

図3のように、前の車の後輪と路面との接地面が見えるくらいのゆとりをもって停車することを心がけましょう。



図1 ナンバーが見えないくらい



図2 ナンバーが見えるくらい



図3 後輪と路面との接地面が見えるくらい

走行中は、荷物に気を取られないような工夫をしましょう。

走行中、財布や携帯電話などの荷物は車内のどこに置くようにしていますか？自身の運転スタイルを振り返ってみましょう。

よく見られる加害事故の概要

助手席に置いた荷物が倒れたり、座席から落ちたりしたことに気を取られてしまい、一瞬よそ見したこと、停車中の前の車に追突した。



後部座席に荷物を置くなど、運転に集中できる環境をつくるよう工夫しましょう。

若い先生方は、加害事故発生率が高いことを認識した上で運転しましょう。

4月～10月までに発生した39件のうち、20代によるものが14件と、若い先生方の加害事故発生率が高い状況です（グラフ2）。

若い先生方は、このことを認識した上で、自身の運転スタイルの見直しを図る必要があります。

グラフ2 年代別の交通加害事故の発生件数

